

令和8年度 シラバス

教 科	公民	科 目	公共	学 年	第2学年	学 科 型	普通科
単位数	2単位	教科書	高等学校 公共(第一学習社)				
副教材	学習事項の整理と問題 公共ノート(第一学習社)・ライブ!公共 2026(帝国書院)						

学習目標	1 2025年から共通テストに加わった科目である。受験科目として「地理総合、歴史総合、公共」・「公共、倫理」・「公共、政治経済」に対応できるよう「実力」を培う。 2 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 3 公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さを自覚する。
------	---

キャリア教育の視点	「目指す大学でどのような勉強をするのか」「入試科目は何か」「志望校はどこか」については、2年次に決定していくものと考えます。そこで、大学の学部にはどのような学部があるか、「公共」を学ぶことが、大学の学部における学習内容とどのように関係しているか等について、紹介していきます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第1編 公共の扉	自分を社会のなかでどのように位置づけ、社会をどう描くかを考え、多様な人生観や世界観、価値観をもつ他者とともに生き、課題を解決していくための力が身につくよう学習を深めます。 「法とは何か」について立法や司法との関わりから考えを深めていきます。	中間考査
	5月	第1章 公共的な空間をつくる私たち		
	6月	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方		期末考査
	7月	第3章 公共的な空間における基本原理 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち		
2 学 期	8月	第2章 政治的な主体となる私たち	政治参加と公正な世論の形成について、選挙制度・行政とのかかわりを通じて学んでいきます。 メディア・リテラシーが身につくように学習を深めていきます。 労働者となり、消費生活を営む公民として「雇用と労働問題」・「市場経済の機能と限界」などについて学びます。	中間考査
	9月			
	10月	第3章 経済的な主体となる私たち		期末考査
	11月			
	12月			
3 学 期	1月	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	地球環境問題や生命倫理の問題について、ケーススタディとして学びを深めていきます。	学年末考査
	2月	ケーススタディ		
	3月			

学習の方法	教科書・図説・公共ノートを常に活用し、ある重要語句についての知識が定着するように同じ語句について3冊で3回に渡り確認させています。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢で、学習していけるよう環境を整えます。知識の習得のみにならないよう、持続可能な社会づくりに必要なことを考えさせていきます。
-------	--

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題への取組、提出物の状況、授業に取り組む姿勢などで評価します。
-------	--

備考	授業の進捗状況により、学習計画及び内容について変更されることがあります。
----	--------------------------------------